花山天文臺日食觀測隊通信

滿洲（第4觀測隊）

第 1 信

19日うすりい丸にて神戸出帆，一行は上海自然科學の囑託を受けた荒木博士，栗原講師，上谷理學士，新城氏と花山天文臺の公文，高倉兩理學士の一行．山本教授御夫妻及び竹田助教授，能田，藪內，宮本各理學士等の方々，親戚知己の多數に見送られて正午解纜，海上無事に1日を過したが，多島海に入る前に濃霧の爲に遙かに南方を迂回して翌朝は右に大黑島の絶景を賞しながら再び島影だに見ず．明けて20日豫定より約2時間遲れて大連着．馬車を連ねて大路を驅けるも又異觀，1時半上海より千田理學士大連丸にて着港．滿鐵の新城博士御令息の好意にて旅行手續は進行せるも，其の煩雜に一同汗だくの態．明けて21日早朝より手續に奔走，荒木，千田兩氏は奉天に先行される豫定．次いで栗原氏も新京に先行．殘部は明朝のあじやにて新京行．多數の貴重品に猫の手も借り度い程の多忙．先途は雨か風か，はた晴れか？

5月21日 大連盤代町田每庵にて 月 斗 生

第 2 信

荷物の運搬手續其他の事由で頗るマンマンの旅を續けて5月28日漸く國境の町黑河に着きました．對岸の軍人町ブラゴエを控へて物々しい中にも露人の子供等の戯々として遊ぶ樣は和やかなものです．29日は相憎の雨で，大小50餘の荷物を定期船紹興に積込む役目も中々のものです．文字通りのぬかるみの中に4足を縛られて觀念の眼を閉づる豚．黑河の濁水から上げられた許りの大鯰．5尺餘りの頭體には，露人の運轉手ならでも思はずビグ・フイシュと呼ばざるを得ない次第です．棧橋には北滿の野に咲いた紅一點子も見送つて呉れるし，官民多數の見送りを受けて勇しくも，蒜と大蒜の大群に包まれて濁水を溯つて遙か呼瑪を目指して進むのです．右岸に見えるトーチカも，大黑河の岸をかざる美はしき點景としか見えず，開け行く兩岸の新綠滴るが如く，白樺の幹の白さが遠近の丘に映えて，群れ遊ぶ鴨の群，悠々と降る筏

の長閑けさ，諸目皆晝中の風景．31日呼瑪着．愈ゝ觀測準備に忙しい．

6月5日　呼瑪にて　**公　文　生**

シベリア(第5觀測隊)

第　1　信

2人で，すべて豫定の如き時間割により旅行してゐます．京城から奉天まではオリンピック選手たち(高木公三郎君と共に)と一所でしたが，滿洲里からオムスクまでも又一所になります．

6月5日　**山本一清**

第　2　信

昨5日新京着．栗原氏等滿洲班の1部に迎へられ，ヤマトホテルで少憩．新城博士にも御目にかゝり，大陸科學院長直木博士の招宴に臨み，23時見送られて出發．今朝6時20分ハルピンに着．北滿ホテルに入りました．堀井君も一所で皆元氣です．明日出發．明後日入露します．

6月6日　**山本一清**

中頓別(第2觀測隊)

第　1　信

村民の好遇により不自由なく，準備仕事も可なり進みました．17日小山，23日稻村(東京工大助手)，27日木邊着．人手も揃つて萬事順調らしいです．天候は晴曇相半ば程度です．下旬に入つてから氣溫も昇り29日には雷雨があつた程です．然しツイ先の山は白雪皚々．食堂には櫻花が飾つてあります．將に冬と春と夏の混成狀態です．28日には東京天文臺一行(橋元班が到着．全然今まで顏見知りのない(天文同志で)隊が集り同志になる所は此處だけらしいです．然し御互

に和氣靄々たる光景で食事をすませて居ります．食事も住民も想像より遙かによく，別に京都に居る時と大して變化ありません．若し餘暇が出來れば，枝幸，遠輕の隊を訪問して見たいと思つて居ます．問題は6月19日にあり，その頃には內地の方も總動員，共に黑い太陽の顏をノガサズ捕へたいものです．（木邊）

第 2 信

チエツコ班が來て，中頓はいよいよ面白い所になりました．賴りない英語でやつて居ますがどうですかね．あと7日許り，臍を落ち付けて今日の歡迎會に出る筈．6月12日 （木邊）

通　　信

前　略

今度都合ではブラジル海岸山脈の1800米ばかりの高山に觀測所を設けることになつて居り，內定いたして居ります．黃道光の觀測には好都合だと存じて居ます．年內には開始するつもりで當分私が引越して擔當します．地名はカンポス・ド・ヂヨルドンといはれてゐまして療養所等の多い至極健康地であります．過日外務省派遣の新垣恆政といふ醫學博士が私の中學時代の同級の親友で種々と骨を折つて呉れました．新垣君とはサンパウロ州立天文臺（未完成）も訪問しました．サンパウロの州立天文臺の寫眞少々不出來ですがお送りします．氣象臺もかねてをります．設備は相當大がかりでやつてゐますが，いつまでたつても出來上らない所がブラジル式です．

4月3日 ブラジルにて 神屋信一